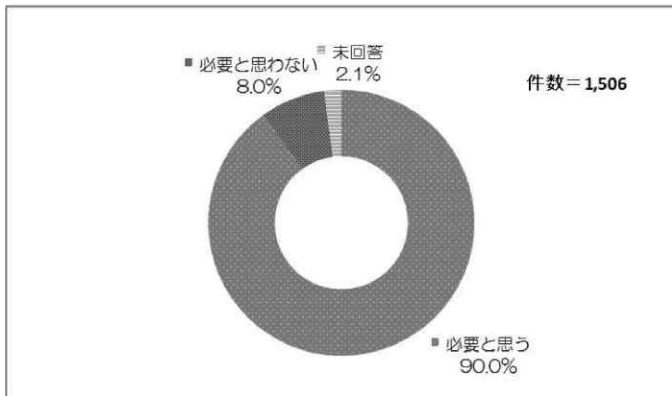


(2) 「あいち森と緑づくり事業」の必要性

間伐や都市緑化などの取り組みを「必要と思う」が90.0%

問Ⅱ-2 「あいち森と緑づくり税」を使った間伐や都市緑化などの取り組みを必要と思いますか。(〇は1つ)



「あいち森と緑づくり税」を使った間伐や都市緑化などの取り組みを「必要と思う」と答えた人の割合は90.0%である。一方で「必要としない」と答えた人の割合は8.0%である。

「必要としない」の理由としては、「増税に反対」、「税金の使い道が不透明」、「税金ではなく別の方法で資金を作る」、「所有者が行うべき」などがある。

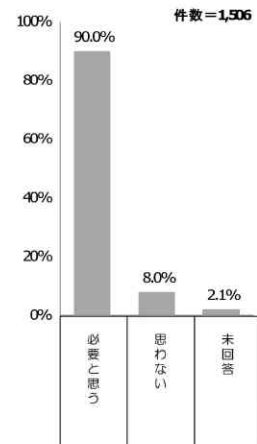
「あいち森と緑づくり事業」の必要性(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「必要と思う」と答えた人の割合は、女性(92.3%)が高く、男性(87.6%)が低く、4.7ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「必要と思う」と答えた人の割合は、20代(91.7%)が最も高く、次に60歳~64歳(92.0%)、65歳以上(92.0%)が高く、40代(87.9%)、50代(87.8%)が低い。

◆地域別で見ると、「必要と思う」と答えた人の割合は、東三河地域(92.5%)、西三河地域(92.0%)が高く、名古屋地域(81.9%)、尾張地域(81.9%)が低い。

◆職業別で見ると、「必要と思う」と答えた人の割合は、無職(91.1%)が高く、自営業(88.5%)が低くなっている。



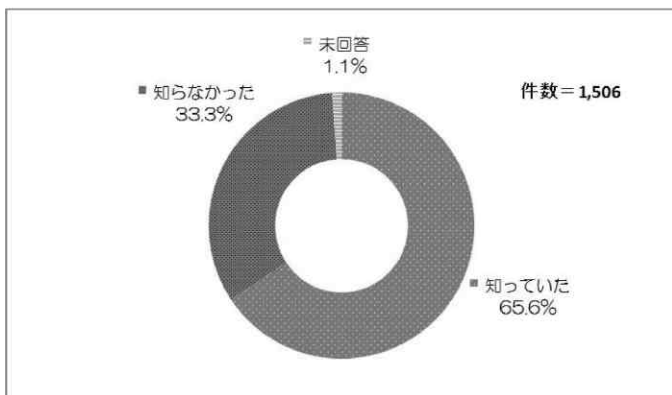
性別	必要と思う	必要としない	未回答	
男性	87.6%	11.3%	1.2%	
女性	92.3%	4.9%	2.8%	
年齢別	20歳~29歳	91.7%	7.4%	0.9%
	30歳~39歳	89.2%	9.2%	1.5%
	40歳~49歳	87.9%	9.0%	3.1%
	50歳~59歳	87.8%	9.7%	2.4%
	60歳~64歳	92.0%	7.1%	0.9%
	65歳以上	92.0%	5.8%	2.2%
地域別	名古屋地域	81.9%	8.9%	2.0%
	尾張地域	81.9%	8.4%	2.5%
	西三河地域	92.0%	5.8%	2.3%
	東三河地域	92.5%	7.5%	0.0%
職業別	自営業	88.5%	8.2%	3.3%
	勤め人	89.5%	8.6%	1.9%
	無職	91.1%	7.1%	1.8%

Ⅲ 人工林整備事業について

(1) 人工林の間伐と公益的機能について

間伐は森林(人工林)の公益的機能を高めることを「知っていた」が65.6%

問Ⅲ-1 間伐は森林(人工林)の公益的機能を高めることを知っていましたか。(〇は1つ)



間伐は森林の公益的機能を高めることを「知っていた」と答えた人の割合は65.6%である。一方で「知らなかった」と答えた人の割合は33.3%である。

※「人工林整備事業」とは、公益的機能を発揮させるため、手入れの遅れたスギ・ヒノキの人工林の間伐する事業。

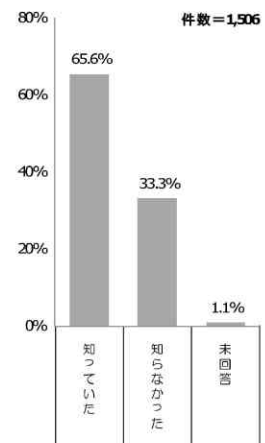
人工林の間伐と公益的機能について(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性(69.9%)が高く、女性(61.3%)が低く、8.6ポイントの差がある。

◆「知っていた」と答えた人の割合は、年齢層が上がるごとに増えており、60歳~64歳(75.9%)が高く、20代(40.7%)が低く、35.2ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、名古屋地域(67.7%)、東三河地域(65.2%)が高く、尾張地域(64.5%)が低い。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、自営業(68.1%)が高く、勤め人(64.4%)が低い。

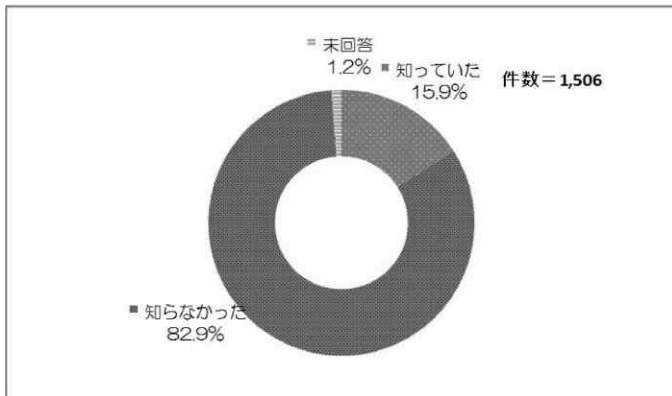


性別	知っていた	知らなかった	未回答	
男性	69.9%	29.3%	0.7%	
女性	61.3%	37.4%	1.3%	
年齢別	20歳~29歳	40.7%	59.3%	0.0%
	30歳~39歳	54.9%	45.1%	0.0%
	40歳~49歳	57.8%	41.8%	0.4%
	50歳~59歳	67.4%	31.3%	1.4%
	60歳~64歳	75.9%	23.6%	0.5%
	65歳以上	74.5%	23.4%	2.2%
地域別	名古屋地域	67.7%	31.0%	1.2%
	尾張地域	64.5%	34.2%	1.3%
	西三河地域	64.6%	34.7%	0.6%
	東三河地域	65.2%	34.8%	0.0%
職業別	自営業	68.1%	30.2%	1.6%
	勤め人	64.4%	35.0%	0.6%
	無職	65.8%	33.0%	1.2%

(2) 人工林の間伐事業の認知度

スギ・ヒノキの人工林の間伐していることを「知らなかった」が82.9%

問Ⅲ-2 あいち森と緑づくり事業で愛知県内の手入れの遅れたスギ・ヒノキの人工林の間伐していることを知っていましたか。(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業で愛知県内の人工林の間伐していることを「知っていた」と答えた人の割合は15.9%である。一方で「知らなかった」と答えた人の割合は82.9%と高くなっている。

※あいち森と緑づくり事業とは、あいち森と緑づくり税の徴収等を財源として、森や緑が持つ様々な働きを高めるため、県内の森林、里山林、都市の緑をバランスよく整備する取り組みを行っている事業です。

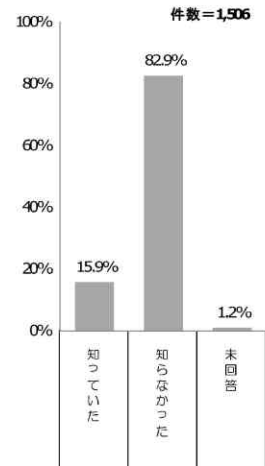
人工林の間伐事業の認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は男性(16.6%)が高く、女性(14.6%)が低く、2.0ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、65歳以上(24.3%)が高く、20代(7.4%)が低く、16.9ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、名古屋地域(13.2%)は他の地域より3.0ポイント以上低くなっている。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、無職(19.5%)が高く、勤め人(11.6%)が低い。

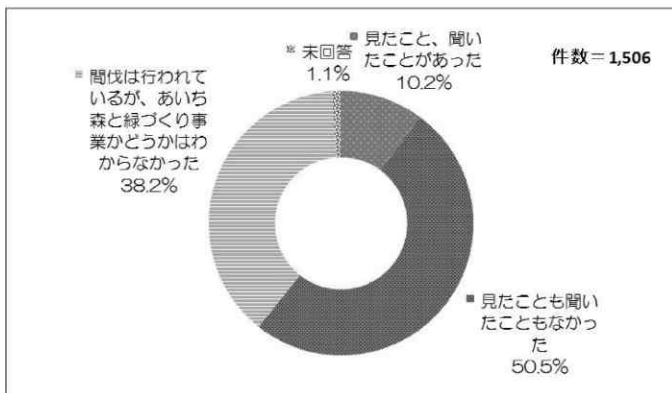


性別	男性	16.6%	82.8%	0.6%
女性	14.6%	83.8%	1.5%	
年齢別	20歳~29歳	7.4%	92.6%	0.0%
	30歳~39歳	13.3%	86.7%	0.0%
	40歳~49歳	7.8%	91.8%	0.4%
	50歳~59歳	9.4%	89.2%	1.4%
	60歳~64歳	22.6%	77.4%	0.0%
	65歳以上	24.3%	73.0%	2.7%
地域別	名古屋地域	13.2%	85.4%	1.5%
	尾張地域	16.5%	82.5%	1.0%
	西三河地域	16.7%	82.3%	1.0%
	東三河地域	16.8%	82.6%	0.6%
職業別	自営業	18.1%	79.7%	2.2%
	勤め人	11.6%	88.0%	0.4%
	無職	19.5%	79.2%	1.3%

(3) 人工林の間伐事業の理解度

人工林の間伐事業の実施について「見たことも聞いたこともなかった」が50.5%

問Ⅲ-3 あいち森と緑づくり事業での人工林の間伐を見たこと、聞いたことがありましたか。(〇は1つ)



人工林の間伐されていることについて「間伐は行われているが、あいち森と緑づくり事業かどうかはわからなかった」と答えた人の割合は38.2%、「見たこと、聞いたことがあった」と答えた人の割合は10.2%となっている。一方で「見たことも聞いたこともなかった」と答えた人の割合は50.5%となっている。

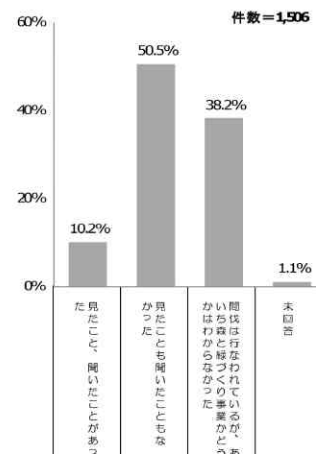
人工林の間伐事業の理解度(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「間伐は行われているが、あいち森と緑づくり事業かどうかはわからなかった」と答えた人の割合は、女性(40.1%)が高く、男性(35.8%)で低く、4.3ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「見たこと、聞いたことがあった」と答えた人の割合は、65歳以上(15.3%)が高く、20代(0.9%)が低く、14.4ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「見たこと、聞いたことがあった」と答えた人の割合は、東三河地域(11.2%)が高く、名古屋地域(7.7%)が低く、3.5ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「見たこと聞いたことがあった」と答えた人の割合は、自営業(15.9%)が高く、勤め人(6.7%)が低い。

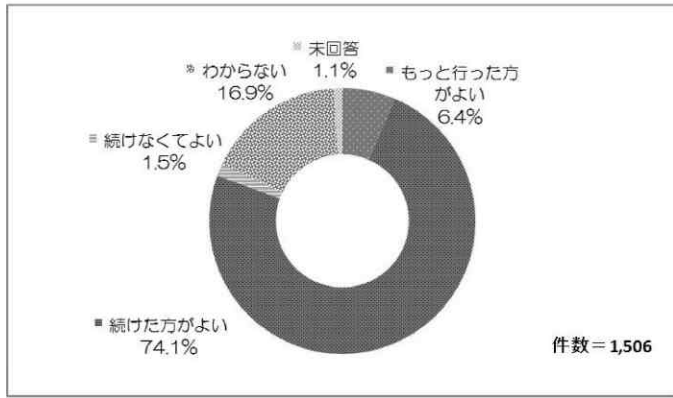


性別	男性	10.4%	53.2%	35.8%	0.6%
女性	9.1%	49.4%	40.1%	1.4%	
年齢別	20歳~29歳	0.9%	74.1%	25.0%	0.0%
	30歳~39歳	7.2%	63.6%	29.2%	0.0%
	40歳~49歳	5.9%	59.4%	34.0%	0.8%
	50歳~59歳	7.3%	51.7%	39.9%	1.0%
	60歳~64歳	13.7%	40.6%	44.8%	0.9%
	65歳以上	15.3%	39.2%	43.6%	1.9%
地域別	名古屋地域	7.7%	55.3%	35.7%	1.2%
	尾張地域	10.3%	53.5%	35.4%	0.8%
	西三河地域	10.6%	42.4%	45.7%	1.3%
	東三河地域	11.2%	48.4%	39.8%	0.6%
職業別	自営業	15.9%	47.8%	34.6%	1.6%
	勤め人	6.7%	57.0%	35.7%	0.6%
	無職	11.6%	45.5%	41.7%	1.2%

(4) 人工林の間伐事業の継続について

人工林の間伐事業の継続について「続けた方がよい」が74.1%

問Ⅲ-4 あいち森と緑づくり事業で今後も間伐を続けた方がよいと思いませんか。(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業で間伐を「もっと行った方がよい」と答えた人の割合は6.4%、「続けたほうがよい」と答えた人の割合は74.1%となっている。

一方で、「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.5%、「わからない」と答えた人の割合は16.9%となっている。

「続けなくてよい」の理由としては、「自然を壊すから」、「所有者が行うべき」、「民間業者が行うべき」、「受益者負担がよい」などがある。

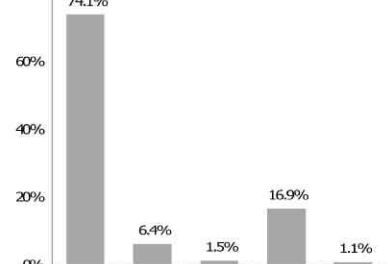
(5) その他、人工林整備に対する自由意見

「長期にわたり整備する必要がある」、「自然災害防止のために整備は必要」、「事業のPRが必要」、「どの地域も均衡に整備してほしい」、「広葉樹を植栽すべき」、「最低限の手入れで充分」、「種業者が行うべき」などがある。

人工林の間伐事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、男性(74.9%)が高く、女性(73.7%)が低く、1.2ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、60歳~64歳(80.2%)が高く、20代(59.3%)が低く、20.9ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、東三河地域(80.1%)が高く、名古屋地域(73.0%)が低く、7.1ポイントの差がある。
- ◆職業別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、無職(75.4%)が高く、自営業(68.7%)が低い。

件数=1,506



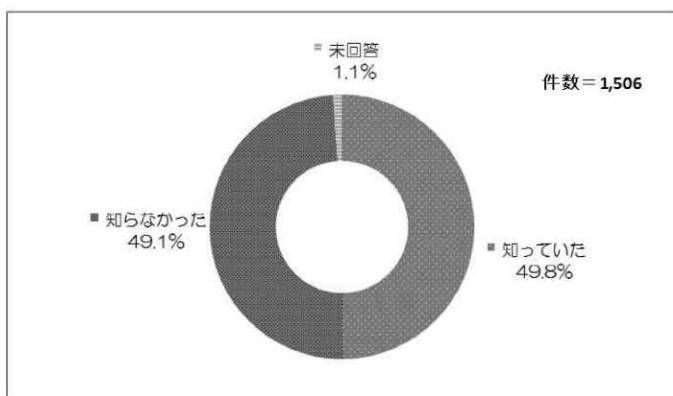
性別	男性	6.5%	3.0%	15.0%	0.6%	
女性	73.7%	6.0%	0.1%	18.8%	1.3%	
年齢別	20歳~29歳	59.3%	5.6%	0.0%	34.3%	0.9%
	30歳~39歳	71.3%	6.2%	1.0%	21.5%	0.0%
	40歳~49歳	70.3%	5.5%	2.0%	21.9%	0.4%
	50歳~59歳	75.3%	5.9%	2.4%	15.3%	1.0%
	60歳~64歳	80.2%	7.5%	0.5%	10.8%	0.9%
	65歳以上	78.1%	6.6%	1.2%	11.9%	1.2%
地域別	名古屋地域	73.0%	7.2%	2.2%	15.9%	1.2%
	尾張地域	73.2%	5.2%	1.2%	19.4%	1.0%
	西三河地域	75.6%	5.8%	0.6%	17.0%	1.0%
	東三河地域	80.1%	7.5%	1.2%	11.2%	0.0%
職業別	自営業	68.7%	8.8%	2.2%	18.7%	1.6%
	勤め人	75.1%	5.5%	1.6%	17.2%	0.6%
	無職	75.4%	6.1%	1.2%	16.3%	1.0%

IV 里山林整備事業について

(1) 里山林整備による公益的機能回復の認知度

公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを「知っていた」49.8%

問Ⅳ-1 公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていましたか。(〇は1つ)



公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを「知っていた」と答えた人の割合は49.8%で、「知らなかった」と答えた人の割合は49.1%であり、回答が拮抗している。

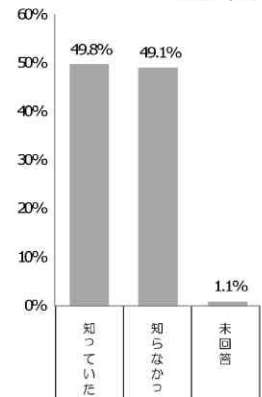
※里山林とは、かつて人々が暮らしの中で、薪(まき)や落ち葉などを燃料や肥料に利用することで維持管理されてきた、コナラなどの落葉広葉樹の森林。

※「里山林整備事業」とは放置された里山林を対象に、公益的機能を回復させるため、枯れたり、支障となる木の抜き伐りや侵入竹の伐採などの森林の手入れ、作業小屋や管理道などの施設整備を行う事業。

里山林整備による公益的機能回復の認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性(53.5%)が高く、女性(46.5%)が低く、7.0ポイントの差がある。
- ◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、60歳~64歳(60.8%)が高く、20代(27.8%)が低く、33.0ポイントの差がある。
- ◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、地域によって大きな差は見られない。
- ◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、自営業(58.8%)が高く、勤め人(46.1%)が低い。

件数=1,506

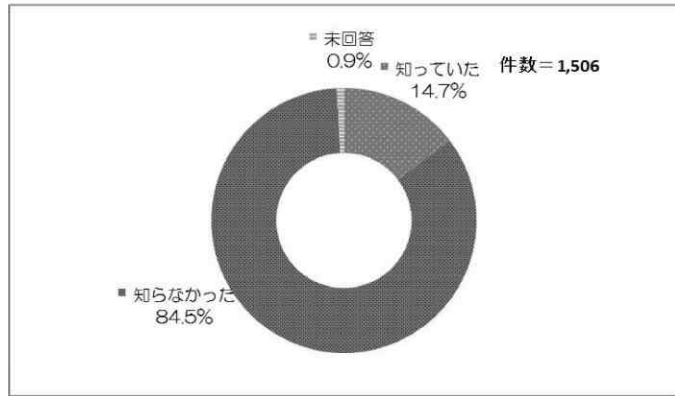


性別	男性	45.8%	0.7%	
女性	46.5%	52.4%	1.0%	
年齢別	20歳~29歳	27.8%	72.2%	0.0%
	30歳~39歳	34.4%	65.1%	0.5%
	40歳~49歳	40.2%	59.0%	0.8%
	50歳~59歳	53.1%	45.8%	1.0%
	60歳~64歳	60.8%	39.2%	0.0%
	65歳以上	60.6%	37.7%	1.7%
地域別	名古屋地域	50.6%	49.1%	0.2%
	尾張地域	49.8%	48.8%	1.3%
	西三河地域	49.2%	49.8%	1.0%
	東三河地域	50.3%	49.1%	0.6%
職業別	自営業	58.8%	40.7%	0.5%
	勤め人	46.1%	53.2%	0.7%
	無職	51.8%	47.2%	1.0%

(2) 里山林整備事業の認知度

里山林の整備をしていることを「知らなかった」84.5%

問IV-2 あいち森と緑づくり事業で、里山林の整備をしていることを知っていましたか。(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業で、里山林の整備をしていることを「知っていた」と答えた人の割合は14.7%である。一方で「知らなかった」と答えた人の割合は84.5%と高くなっている。

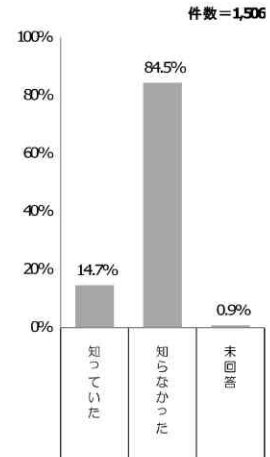
里山林整備事業の認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性(15.0%)が高く、女性(13.7%)が低く、1.3ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、年齢層が上がるごとに割合が増える傾向にあり、65歳以上(25.5%)が高く、20代(5.6%)が低く、19.9ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、尾張地域(16.5%)が高く、名古屋地域(11.9%)が低く、4.6ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、無職(19.5%)が高く、勤め人(9.6%)が低い。

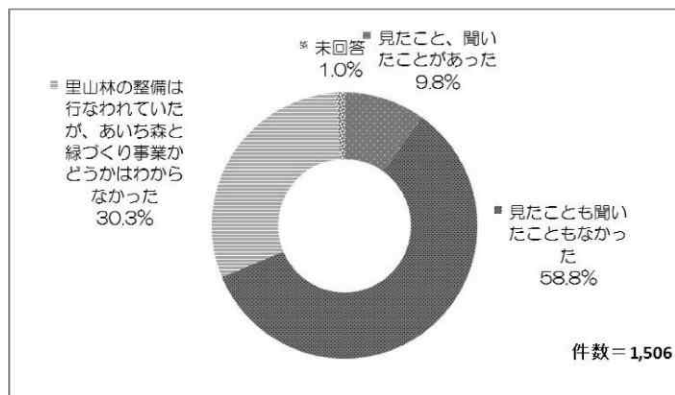


性別	知っていた	知らなかった	未回答
男性	15.0%	84.2%	0.7%
女性	13.7%	85.6%	0.6%
年齢別			
20歳~29歳	5.6%	94.4%	0.0%
30歳~39歳	6.2%	93.3%	0.5%
40歳~49歳	7.8%	91.8%	0.4%
50歳~59歳	10.4%	88.5%	1.0%
60歳~64歳	17.9%	82.1%	0.0%
65歳以上	25.5%	73.2%	1.2%
地域別			
名古屋地域	11.9%	87.8%	0.2%
尾張地域	16.5%	82.3%	1.2%
西三河地域	14.1%	85.2%	0.6%
東三河地域	13.0%	87.0%	0.0%
職業別			
自営業	15.9%	83.5%	0.5%
勤め人	9.6%	89.8%	0.6%
無職	19.5%	79.9%	0.7%

(3) 里山林整備事業の理解度

里山林整備事業の実施について「見たことも聞いたこともなかった」が58.8%

問IV-3 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、見たこと、聞いたことがありましたか。(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を「見たこと、聞いたことがあった」と答えた人の割合は9.8%であり、「里山林の整備は行われているが、あいち森と緑づくり事業かどうかはわからなかった」と答えた人の割合は30.3%である。一方で、「見たことも聞いたこともなかった」と答えた人の割合は58.8%である。

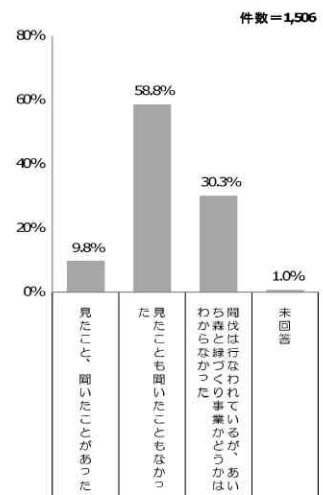
里山林整備事業の理解度(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「見たこと聞いたことがあった」と答えた人の割合は、男女とも9.2%と同じである。

◆年齢別で見ると、「見たこと聞いたことがあった」と答えた人の割合は、年齢層が上がるごとに割合は増える傾向にあり、20代(1.9%)が低く、65歳以上(14.8%)が高く、12.9ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「見たことも聞いたこともなかった」と答えた人の割合は、名古屋地域(62.5%)が高く、尾張地域(57.4%)で低く、5.1ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「見たこと聞いたことがあった」と答えた人の割合は、自営業(12.6%)が高く、勤め人(6.2%)が低くなっている。

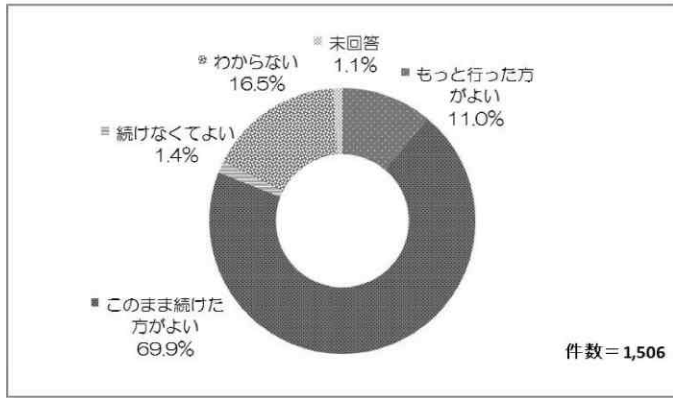


性別	見たこと、聞いたことがあった	見たことも聞いたこともなかった	わかっているが、あいち森と緑づくり事業かどうかはわからない	未回答
男性	9.2%	60.3%	29.5%	1.0%
女性	9.2%	58.8%	31.3%	0.6%
年齢別				
20歳~29歳	1.9%	82.4%	15.7%	0.0%
30歳~39歳	6.2%	67.2%	25.1%	0.5%
40歳~49歳	5.1%	71.1%	23.4%	0.4%
50歳~59歳	8.2%	62.8%	27.8%	0.7%
60歳~64歳	10.4%	49.5%	38.2%	1.4%
65歳以上	14.8%	45.3%	38.2%	1.2%
地域別				
名古屋地域	9.2%	62.5%	27.3%	0.5%
尾張地域	9.4%	57.4%	32.2%	1.0%
西三河地域	9.0%	60.1%	29.9%	1.0%
東三河地域	8.7%	57.8%	32.9%	0.6%
職業別				
自営業	12.6%	54.4%	31.0%	1.1%
勤め人	6.2%	66.2%	26.5%	0.8%
無職	11.9%	52.8%	34.5%	0.8%

(4) 里山林整備事業の継続について

里山林整備事業の継続について「このまま続けた方がよい」が69.9%

問IV-4 あいち森と緑づくり事業で、今後も里山林の整備を続けた方がよいと思いますか。(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業で、里山林の整備を「もっと行った方がよい」と答えた人の割合は11.0%、「このまま続けた方がよい」と答えた人の割合は69.9%である。一方で「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.4%、「わからない」と答えた人の割合は16.5%となっている。

「続けなくてよい」の理由としては、「必要性を感じない」、「地権者及び地元負担で行う」、「所有者が行う」、「ボランティアで行う」などがある。

(5) その他、里山林整備に対する自由意見

「災害防止のために整備は必要」、「事業のPRが必要」、「今後も事業を継続してほしい」、「里山を自由に利用したい」、「里山林が身近なものとなってほしい」、「過剰な伐採はしないでほしい」などがある。

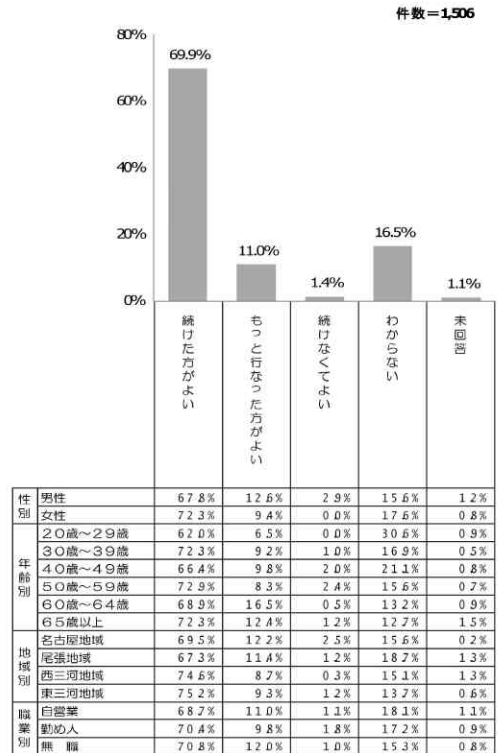
里山林整備事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「続けたほうがよい」と答えた人の割合は、女性(72.3%)が高く、男性(67.8%)が低く、4.5ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「続けたほうがよい」と答えた人の割合は、50代(72.9%)が高く、20代(62.0%)が低く、10.9ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「続けたほうがよい」と答えた人の割合は、東三河地域(75.2%)が高く、尾張地域(67.3%)が低く、7.9ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「続けたほうがよい」と答えた人の割合は、職業属性によって回答に大きな差は見られない。

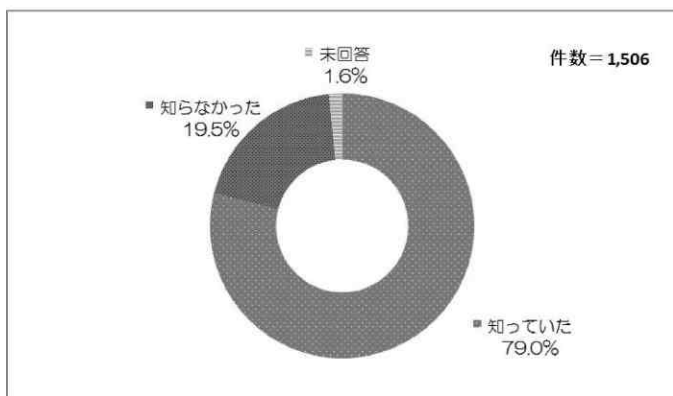


V 都市緑化推進事業について

(1) 都市の緑の公益的機能の認知度

都市の緑にも公益的機能があることを「知っていた」が79.0%

問V-1 都市の緑はヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全、地震発生時の火災延焼防止などの防災機能の発揮に役立っていることを知っていましたか。(〇は1つ)



都市の緑の公益的機能について「知っていた」と答えた人の割合は79.0%と高く、「知らなかった」と答えた人の割合は19.5%である。

※「都市緑化推進事業」とは、あいち森と緑づくり税を使って、①都市における樹林地の保全・創出を図る取組、②民有地の緑化、③美しい並木道の再生、④県民参加で実施する緑化活動や都市緑化の普及啓発活動などへ支援する事業。

都市の緑の公益的機能の認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性(81.1%)が高く、女性(77.2%)で低く、3.9ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、50代(84.4%)が高く、20代(66.7%)が低く、17.7ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、名古屋地域(81.4%)が高く、西三河地域(77.2%)が低く、4.2ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、勤め人(82.5%)が高く、自営業(75.8%)が低い。

